

夜間学校ニュース

1987年6月19日
西成区萩之茶屋2の8の9 旅路の里気付
釜ヶ崎夜間学校

在日朝鮮人・韓国人の
指紋押なつ拒否断固支持！
定住外国人に市民権を

みんなでつくろう

みんなの 会館

三人よれば何とかの知恵

毎週金曜日
夜七時より
市民館三階

釜ヶ崎夜間学校

釜日労が

今日から府庁前で

抗議のハンスト

釜日労が今日から二三日まで、大阪府庁前の公園でハンガーストライキをおこなう。

十五日には二千四百名の仲間の要求署名を持って府庁まで雨中デモをおこなったが、大阪府労働部は、最初、署名の受け取りすら拒否し、まったく黙殺しようとした。

けっきよく署名は受け取ったものの、交渉には応じようこない。

釜日労は、この大阪府労働部の対応に抗議し、交渉に応じることを要求してハンストに入りましたものである。ハンストは百時間をメドとしておこなわれ、代表三名が百時間ぶつこうしでハ

ンストをおこなうほか、釜日労メンバー全員がリシーハンストをおこなう。具体的成果はもとより目算がたっていないと思われ、毎年くり返される春の「アブシ地獄」に、来年あるいは来年に終止符をうったために、こりくまゆる価値ある闘争であると考え

る。多くの仲間が、これに注目し、せめて、抗議の電話を大阪府労働部へ！

649・1491
あいらん労働
公共職業安定所

労働行政について
わからぬこと
頭にきたことは電話を...

- 大阪府庁 941-0351
- 知事室 941-2071
- 労働部 941-1265
- 部長室 941-1265
- 労政課 941-0029
- 職業対策課 941-3047

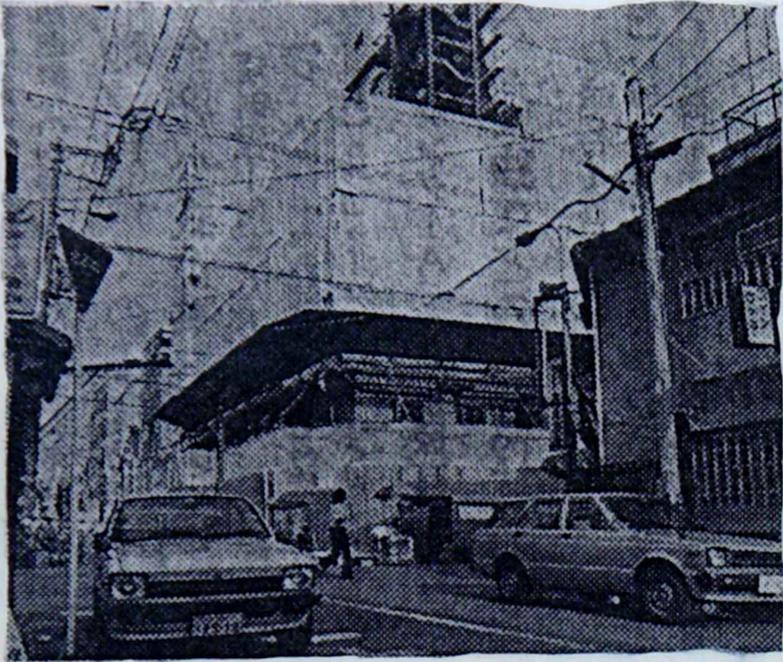
- 労働福祉課 941-1165
- 雇用保険課 942-0461

これどこの話?

大阪市西成区にあいりん地区をホームグラウンドにする日雇い労働者が、この三年間で約一万人も増え、大阪・千里丘陵での日本万国博覧会などをし、過去最高の約三万人にのぼっていることが財団法人・西成労働福祉センターの調べで明らかになった。関西国際空港や花の万博に代表される大型プロジェクトが呼び水となり、求人数も新記録ペースで増えていることとで、円高不況業種の失業者らを含み込んでいく。簡易宿泊所の増・改築ラッシュが続くなら、街はますます盛況を見せている。

あいりん活況

新空港に花博工事



日雇い労働者の急増で、ホテルふう簡易宿泊所の建築ブームが起きている大阪・あいりん地区

センターによると、あいりん出て「雇用保険日雇労働被保険者手帳」の交付を受けた労働者

27.6.17(金)

大阪に行けば仕事がある

まんざらひじょうではないが……

左の新聞記事は、六月十七日毎日新聞夕刊の中段に掲載されていたもの。これと同じような内容の記事が二ヶ月の間に日経新聞、大阪日日新聞にも載

っていた。これらの新聞記事のもとになっている数字などにウソはない。たしかに現実に起こった数字を使って書いてある。

しかし、記事にとりあげられた数字は一面しかとらえていない。もっとこちがった読みとり方もできるはずのものだ。よりするに、これらの記事を書いた記者は、労働者の側に立つて考えることをおこなっているのだ。

毎日の担当記者と話をしたところ、誤ちを認め、労働者の側の言い分も取材すること約束した。こゝを書いている時間に、その記者と釜田メンバーが話し合いをもっている。おかしな報道はすぐ是正させよう。

膨れる労働者
宿泊所は増改築ラッシュ
センターは一手帳所持者は、あいりん地区の労働者の約八割と推定しており、全体では三万人を超えたとみている。空前の活況といわれた四十

西成労働福祉センターの上畑恵直・労働福祉課長は「全国の日雇い労働者が、関西国際空港工事で、景気のいい話が続いている大阪に行けば、仕事がある」という雰囲気になつて、流入しているのではないが、鉄鋼、造船などの不況で失職した人たちの姿も増えている」と話している。

五年の万博前後でさえ二万六千人程度と推定されているので、現在はざっと二倍の計算になる。センターを通じての求人数は建設業を中心に五十七年度から増える一方、今年度も四月、五月の二カ月で計約十三万人分と、昨年同時期比の約九万五千分を大幅に上回る

ルどうに増改築するケースが昨年度は二十三件、今年度も申請分だけですでに四件、中には十階建て二百室のホテル並みに改築した簡易宿泊所もある。

労働者は、四十九年から五十八年にかけては一万四千一人、一万六千人程度で、ほぼ横ばいだった。しかし、五十九年度以降大幅増に転じ、昨年度は

あいりん地区の簡易宿泊所、日払いアパート、旅館の収容人員は、西成署によると、三十六年ごろは約一万五千人、四十三年ごろは約二万二千人だったが、昨年は約二万九千人にまで達したという。